



第45回 島内地区芸術文化祭

こどもからお年寄りまで、秋の文化まつりを堪能!!



第24回 島内福祉ひろばまつり

第19回 島内図書館まつり



新しい出演・展示や体験コーナーも大人気!!



第45回 島内地区芸術文化祭



令和元年11月1日現在	
総人口	12,676人
男	6,192人
女	6,484人
世帯数	5,333世帯
島内公民館	電話 47-0264
	FAX 40-1264



午後の特別ステージは、ま
つかわ落語会「風まんだら」か
ら、古鉄家ぼんこつ・乙女家
恋さん・山家亭神出の3名が
出演。会長の牛越克己さん(古
鉄家)による「雑俳」などに
会場は大盛り上がり!!



人形劇

「3匹のこぶた」

(公民館子育て講座・ひよこランド)

ホーボーズ・パペットシアターによる原作をアレンジした「3匹のこぶた」に子どもたちは大興奮!!



これまでの活動が評価され、7月25日に佐久市コスモホールで開催された「第24回長野県民生児童委員児童大会」にて、島内地区民生児童委員協議会が「優良単位民生児童委員協議会」に選ばれました。

民生児童委員会の活動紹介

島内地区では「こどもの成長を応援する活動」として、赤ちゃん誕生宅への訪問や未就園児を対象とした「ひよこランド(年12回)」など、子育て支援に努めています。さらに、小学校の遠足付き添いに、中学生と語る会での生徒との意見交換など、学校行事へも参加しています。

一方、「高齢者と共に歩む活動」として、一人暮らし高齢者の見守りや寝たきり高齢者宅への訪問などを行っています。また、福祉ひろばでの「ふ

これまでのご支援に感謝申し上げます。今後とも地域の皆様のかわらぬご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会長 布山 崇

県表彰



れあい健康教室」「健康ウォーキング」「ひろば祭り」などの事業へも参画しています。活動を通じて、80・50問題

や引きこもり、面接困難者への対応、子どもたちのいじめ等へのアプローチ方法などの課題もあります。高齢化が進んでも生き生きと暮らせる地域の形成や、災害に強い地域

の絆づくりを進めていくためにも、民生児童委員の活動はより一層重要となつてきます。



第 5 回

分別とリサイクル化

ごみ収集方法の変化



新焼却プラント十月二十二日試運転 平成10年9月号

③ 平成10年9月30日 (水) 松本市公民館報 【島内版】 第324号

完成間近か!! 新焼却プラント

●「ダイオキシン」対策

●住民の取り組

●完成間近か!!

●マークでわかる分別法

●電器系プラスチックの見分け方

生活ごみや産業ごみ、日々の営みの中で切り離せない「ごみ」。このごみの在り方は、環境問題と重なりその時代がそのまま反映されてきました。身近な問題として再確認してみましょう。

- ◆平成 5 年 全国でペットボトルのリサイクルが始まる。
- ◆平成 7 年 統一指定ごみ袋ができる。ごみの分け方・出し方作成。
- ◆平成 9 年 容器包装リサイクル法施行。家庭用焼却炉補助金制度廃止。
- ◆平成 11 年 クリーンセンター稼働。
- ◆平成 13 年 家電リサイクル法施行。
- ◆平成 16 年 容プラ分別回収試行。
- ◆平成 17 年 容プラリサイクル施設稼働。
- ◆平成 20 年 リサイクルセンター開設。
- ◆平成 23 年 民間によるリサイクルスペースの設置が始まる。

プラスチックの資源化による分別見直し 平成16年3月号

④ 平成16年3月30日 (火) 松本市公民館報 【島内版】 第357号

4月1日スタート

●黄文字袋は資源物

●レジ袋には入れない!!

●再資源化へ理解を

●詳しくは「ごみ資源物の分け方、出し方」をご覧ください。

変化してきた 収集方法

燃えるか燃えないかで収集されていたごみも、減量と合わせてリサイクルの考え方が導入され、分別化・細分化されるようになり、ごみの種類と

大切な 施設の在り方

最終処分場のエコトピア山田は、昭和45年の埋め立て開始から50年近くが経過し、今年度から延命化のための事業に着手しました。この延命化で埋め立て可能年数になる

集め方は現在5分類25区分になり、民間の収集スペースも増えていきます。近年は、プラスチックごみによる環境汚染が深刻だとして、ストローの脱プラ化や来年7月からは、ついにレジ袋の有料化も決まりました。

とのこと。また、平成11年に稼働開始のクリーンセンターも地元との協定で30年間となつていきますので、10年後の供用のため施設組合では新たな施設の在り方の準備に入りました。処理の方法と共に、処理施設の在り方も重要です。

分別の徹底を

ごみ分別の徹底は長年の課題です。各戸に配布されている「ごみ・資源物の分け方・出し方」を再度確認してください。毎年地元広域ごみ処理施設の見学会を催していますが、家庭から出されたごみがどのように処理されているのか、まず関心を持っていただきたいと思ひます。(島内衛生協議会 山村耕児会長談)

生坂ダムに集まったゴミ。一人一人のモラルが問われる風景です。



ごみ分別アプリ「さんあーる」

スマートフォンのアプリです。分別方法や出し方が検索でき、回収日をお知らせしてくれる機能があるので、うっかり忘れの防止にもなります。QRコードからアクセスできます。



iPhone



Android